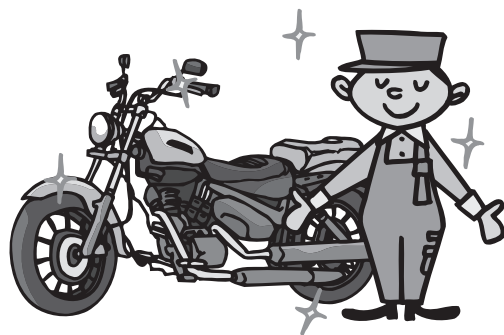


## 日整連 登録試験の推移 2級二輪

試験年月	受験者数	合格者数	合格率
令和7年10月	569人	456人	80.1%
令和6年10月	617人	494人	80.1%
令和5年10月	733人	572人	78.0%
令和4年10月	632人	462人	73.1%
令和3年10月	617人	513人	83.1%
令和2年10月	617人	517人	83.8%
令和元年10月	650人	448人	68.9%
平成30年10月	688人	489人	71.1%
平成29年10月	672人	506人	75.3%
平成28年10月	632人	506人	80.1%

※日整連調べ



## 第1章 基礎工学

5ページ

## 第2章 エンジン

57ページ

## 第3章 シャシ

131ページ

## 第4章 電気装置

195ページ

## 第5章 法令

243ページ

# はじめに

- ①本書は、日本自動車整備振興会連合会（以下日整連）の登録試験について内容をジャンル別に区分し、それぞれに解説を加えたものです。
- ②過去の出題問題は、合計10回分を収録してあります。ただし、過去に出題された頻度が少ないものの、重要と思われる内容の問題については、古いものも収録してあります。

回数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
実施 時期	年*	R7	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28
	月	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

\*R…令和/H…平成

- ③各章の順序は次のとおりとしました。電気装置にはバッテリーの他、「エンジン」及び「シャシ」からの内容も含んでいます。
- ◎第1章 基礎工学      ◎第2章 エンジン  
◎第3章 シャシ      ◎第4章 電気装置  
◎第5章 法令
- ④各章の項目の順序は、できるだけ日整連発行の教科書に合わせました。
- ⑤「第1章 基礎工学」については、先に計算問題の方を掲載しました。試験に合格する上で、計算問題に対する十分な理解がどうしても必要なため、あえて計算問題を先にしました。
- ⑥また、各項目の初めに **学習チェック▶** を用意しました。問題の理解度の目安として使用してください。
- ⑦問題の中で、[R7. 10] などとあるのは、過去の試験の実施時期を示しています。[R7. 10] であれば、令和7年10月に実施された登録試験の問題となります。
- ⑧解説は **！ポイント解説** と **／一般解説** の2種類用意しました。**！ポイント解説** は四肢択一の問題で不適切な場合、どの部分が不適切であるかが簡単にわかるように解説しています。**／一般解説** では、問題を解く上で必要な知識及び関連して知っておいた方がよい内容をまとめてあります。必ずしも1つの問題に対して、1つの解説というわけではなく、また、複数の問題に対して、1つの解説ということもあります。

⑨正解については、日整連が公表しています。したがって、公表されている答えをそのまま掲載しました。

⑩解説の中で [2 二 3 章] などとあるのは、日整連発行の教科書の出題箇所を表しています。[2 二 3 章] は、「2 級二輪」の「第 3 章」の内容から出題されています。

教科書名は、次のとおりです。なお、教科書は令和 8 年 2 月現在のものを使用しました。この後、改定により内容が一部、異なることがあります。

◎ [基礎] …基礎自動車工学      ◎ [基礎整備] …基礎自動車整備作業

◎ [2 二] …2 級二輪                      ◎ [3 二] …3 級二輪

◎ [2 ガ] …2 級ガソリン

⑪法令問題は、令和 8 年 2 月時点の法令を基準としてあります。問題の出題後、法令改正により問題文が不適切となっているものは、全て削除しました。

⑫合格基準（登録試験）は、全 40 問（各 1 点）に対し 70% 以上、すなわち 28 点以上の成績となっています。また、出題の範囲ごとに最低基準点が設定されています。全 40 問の問題は、出題の範囲に応じて基礎工学 5 問、エンジン 15 問、シャシ 15 問、法令 5 問に区分されています。そして、これら各区分ごとに 40% 以上の成績をおさめていなくてはなりません。40% ということは、基礎工学と法令は 5 問中、最低でも 2 点はとっておく必要があります。

⑬自動車用語は、ほとんど英語となっています。自動車用語を理解し覚える上で、元の英語の意味がわかると、たいへん参考となります。そこで、本書では主な自動車用語について「用語」欄を設け、英語の一般的な意味を掲載しました。

令和 8 年 3 月 編集部

# 第1章 基礎工学

## 1 計算基礎

1-1	乗除の応用	6
1-2	比例と方程式	8
1-3	単位の考え方	10

## 2 計算問題

2-1	重心	12
2-2	トランスミッション [車速]	13
2-3	駆動力	14
2-4	加速度	15
2-5	走行距離	16
2-6	トルク	17
2-7	バルブ機構	18
2-8	平均ピストン速度	19
2-9	圧力	21
2-10	電気回路	22

## 3 工学一般

3-1	自動車の材料	31
3-2	製 図	32
3-3	燃 料	34
3-4	潤滑剤	35
3-5	グリース	38
3-6	基礎的な原理・法則	39
3-7	自動車の諸元	40
3-8	整備作業・検査用器具	48

◆解 答		56
------	--	----

## 2

## 計算問題

## 2-1 重心

学習チェック▶ 【1】□□□

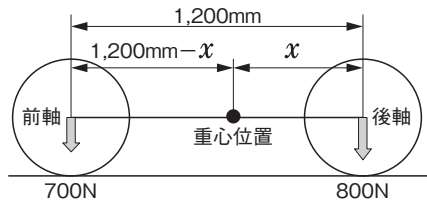
【1】前軸荷重700N、後軸荷重800N、ホイールベースが1,200mmの二輪自動車で、重心は後軸からの水平距離で表した値として、適切なものは次のうちどれか。[H30. 10]

1. 466mm
2. 560mm
3. 640mm
4. 700mm

## 解説

【1】

①まず、設問の内容を図で表してみます。



■設問の内容

- ②重心位置では、左回りモーメントと右回りのモーメントが等しいという特性があります。
- ③モーメントは、回転能力の大きさを表す量をいいます。力の大きさをF、座標中心から力の作用点までの距離をLとすると、モーメントはそれらの積  $F \times L$  となります。
- ④後軸から重心位置までの水平距離を  $x$  mとし、ホイールベースの単位をmmからm ( $1,200\text{mm} \Rightarrow 1.2\text{m}$ ) に変換すると次の等式が成り立ちます。

$$800\text{N} \times x\text{m} = 700\text{N} \times (1.2\text{m} - x\text{m})$$

$$800x\text{N} \cdot \text{m} = 840\text{N} \cdot \text{m} - 700x\text{N} \cdot \text{m}$$

$$1500x\text{N} \cdot \text{m} = 840\text{N} \cdot \text{m}$$

$$x = 0.56\text{m}$$

- ⑤最後に、mをmmに変換すると、560mmとなります。

# 3

# 工学一般

## 3-1 自動車の材料

学習チェック▶ 【1】□□□

【1】アルミニウムに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

[R3.10/H30.10/H28.10]

1. 線膨張係数は鉄に比べ、約2倍である。
2. 比重は鉄の半分である。
3. 銅に比べ、電気の伝導率は高い。
4. 鉄に比べ、熱の伝導率は低い。

### ! ポイント解説

2. 比重は鉄の約3分の1。
3. 電気の伝導率は、銅の約60%。
4. 熱伝導率は鉄の約3倍。

### 一般解説

#### 📦 アルミニウム [基礎3章]

- ①アルミニウムは、次の特徴があります。
  - ◎比重が鉄の約1/3と軽い。
  - ◎電気の伝導率は銅の約60%で、電気が伝わりにくい。
  - ◎熱伝導率は鉄の約3倍と高く、熱が伝わりやすい。
  - ◎線膨張係数は鉄の約2倍で、膨張しやすい。

# 第2章 エンジン

## 1 総論

- 1-1 バルブ・タイミング…………… 58
- 1-2 エンジンの性能…………… 59
- 1-3 ノッキング…………… 62
- 1-4 排気ガス…………… 65

## 2 エンジン本体

- 2-1 シリンダ・ヘッド／  
シリンダ…………… 69
- 2-2 ピストン…………… 71
- 2-3 ピストン・リング…………… 74
- 2-4 コンロッド及び  
コンロッド・ベアリング…………… 78
- 2-5 クランクシャフト…………… 82
- 2-6 バルブ機構…………… 85
- 2-7 バルブ・スプリング…………… 86
- 2-8 バランサ機構…………… 88
- 2-9 バルブ・タイミング  
(シリンダの状態)…………… 90
- 2-10 バルブ・タイミング  
(バルブの開閉時期)…………… 98
- 2-11 バルブ・タイミング  
(オーバーラップ)…………… 100
- 2-12 故障探求…………… 102

## 3 潤滑装置

- 3-1 構造・機能…………… 107

## 4 冷却装置

- 4-1 構造・機能…………… 111

## 5 吸排気装置

- 5-1 排気装置…………… 116

## 6 電子制御装置

- 6-1 センサ／アクチュエータ…………… 120
- 6-2 コントロール・  
ユニットによる制御…………… 125

- ◆解答…………… 130

## 1-1 バルブ・タイミング

学習チェック▶ 【1】□□□

【1】インテーク・バルブとエキゾースト・バルブに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[編集部]

1. インテーク・バルブの開く時期は、ピストンが下降したときの速度が速くなったところで通気面積が十分大きくなるよう上死点前にしている。
2. インテーク・バルブの閉じる時期は、吸気の慣性を利用し、吸入混合気量が多くなるよう下死点前にしている。
3. エキゾースト・バルブの開く時期は、燃焼したガスの自己の圧力で排出するよう膨張行程の終わる下死点前にしている。
4. エキゾースト・バルブの閉じる時期は、完全に排気を行うよう上死点後にしている。

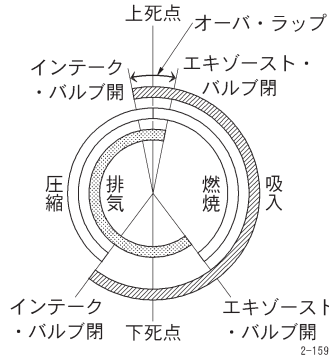
## ! ポイント解説

2. 「下死点前」⇒「下死点后」。

## 一般解説

## 4 サイクル・エンジンのバルブ・タイミング [2ニ1章]

- ① インテーク・バルブは、上死点前に開き下死点後に閉じます。
- ② インテーク・バルブの開き始めの時期を考えたとき、バルブがシートから離れた瞬間では、インテーク・バルブの通気面積は極めて小さい状態にあります。仮に、開き始めの位置を上死点にすると、ピストンが下降を始めたときに十分な通気面積が得られず、吸入抵抗が大きくなって体積効率が低下します。



■バルブ・タイミング・ダイヤグラム

- ③ そこで、インテーク・バルブを上死点よりいくらか早めに開き、ピストンの速度が速くなったところで通気面積が十分大きくなるようにしています。

# 3

# 潤滑装置

## 3-1 構造・機能

学習チェック▶ [1] □□□ [2] □□□ [3] □□□

【1】4サイクル・エンジン搭載の2輪自動車における全流ろ過圧送式潤滑装置等に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[編集部]

1. オイルは、オイル・パンからオイル・ストレーナを介してオイル・ポンプにより吸い上げられ、オイル・フィルタでろ過されたのち、各潤滑部へ圧送される。
2. エンジン回転速度が上昇して油圧が規定値以上になると、オイル・ポンプのバイパス・バルブが開き、オイルの一部をオイル・パンに戻す。
3. オイル・フィルタのエLEMENTが詰まり、吸入側と吐出側の圧力差が規定値以上になるとリリーフ・バルブが開いて、オイルはELEMENTを通らずに潤滑部へ供給される。
4. オイルの温度が150℃以上になると急激に潤滑性を失うようになるので、普通、130℃を超えないことが望ましい。

【2】OHC型4サイクル・エンジン搭載の2輪車における全流ろ過圧送式潤滑装置のオイル循環に関して、オイル・ポンプから出たオイルが次に送られる部位として、適切なものは次のうちどれか。[編集部]

1. トランスミッション
2. オイル・フィルタ
3. オイル・ジェット
4. ロッカ・アーム

【3】4サイクル・エンジン搭載の2輪車における全流ろ過圧送式潤滑装置のオイルの循環に関して、オイル・フィルタを通ったオイルがオイル・パンに戻るまでの間に送られる部位として、不適切なものは次のうちどれか。[編集部]

1. クランクシャフト
2. オイル・ジェット
3. オイル・パイプ
4. ロッカ・アーム

# 第3章 シャシ

## 1 動力伝達装置

- 1-1 湿式多板式クラッチ …… 132
- 1-2 乾式シュー式  
自動遠心クラッチ …… 134
- 1-3 トランスミッション …… 138
- 1-4 ベルト式自動無段変速機 …… 139
- 1-5 シャフト駆動 …… 144
- 1-6 ベルト駆動 …… 149

## 2 アクスル及びサスペンション

- 2-1 車体の振動と揺動 [1] …… 150
- 2-2 車体の振動と揺動 [2] …… 153
- 2-3 スプリングと  
ショック・アブソーバ …… 155
- 2-4 フロント・  
サスペンション …… 157
- 2-5 リンク式リヤ・  
サスペンション …… 158
- 2-6 正立式 (セリアー二型)  
フロント・フォークの点検 161

## 3 ステアリング装置

- 3-1 旋回性能 …… 162
- 3-2 キャスタ及びトレール …… 166
- 3-3 ハンドル回転軸部 …… 168

## 4 ホイール及びタイヤ

- 4-1 タイヤの特性 …… 170
- 4-2 タイヤの寿命 …… 175
- 4-3 ホイール・バランスと  
タイヤの走行音 …… 177
- 4-4 タイヤの点検・整備 …… 178

## 5 ブレーキ装置

- 5-1 タイヤのスリップ率 …… 179
- 5-2 フェードと  
ベーパー・ロック …… 181
- 5-3 ドラム式ブレーキ …… 184
- 5-4 ディスク式油圧ブレーキ …… 186
- 5-5 故障探求 …… 189

## 6 フレーム

- 6-1 フレームの種類 …… 192

◆解答 …… 194

## 1-1 湿式多板式クラッチ

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□ 【3】□□□ 【4】□□□

【1】湿式多板式クラッチの切れ不良の推定原因として、**不適切なものは次のうちどれか。** [R7.10/R4.10]

1. クラッチ・スプリングの高さの不ぞろい
2. クラッチ・ケーブルの潤滑不良
3. クラッチ・レバーの遊びの過大
4. オイル粘度の高過ぎ

【2】湿式多板式クラッチの切れ不良の推定原因として、**不適切なものは次のうちどれか。** [R6.10/R3.10]

1. クラッチ・スプリングの高さの不ぞろい
2. プッシュ・ロッド・クリアランスの過大
3. クラッチ・レバーの遊びがない
4. 低質オイルの厳寒期におけるゲル化

【3】湿式多板式クラッチの切れ不良の推定原因として、**不適切なものは次のうちどれか。** [R1.10]

1. プッシュ・ロッド・クリアランスの過小
2. クラッチ・スプリングの高さの不ぞろい
3. 低質オイルの厳寒期におけるゲル化
4. オイル粘度の高過ぎ

【4】湿式多板式クラッチに滑りがあるときの推定原因として、**不適切なものは次のうちどれか。** [R5.10/R2.10/H30.10]

1. クラッチ・レバーの遊びがない
2. クラッチ・ドライブ・プレートの焼損
3. クラッチ・シューの破損
4. プッシュ・ロッド・クリアランスの過小

# 4

# ホイール及びタイヤ

## 4-1 タイヤの特性

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□ 【3】□□□ 【4】□□□ 【5】□□□  
【6】□□□

【1】タイヤの特性に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[R7.10]

1. タイヤは回転するごとに路面により圧縮され、再び原形に戻ることを繰り返すが、このタイヤの変形による抵抗は、タイヤの転がり抵抗のうちで最も小さい。
2. 二輪自動車のスピードメータは、動荷重半径とタイヤの回転速度を基準にして、速度と走行距離を表示している。
3. タイヤに荷重を加えていくと「たわみ」を生じるが、この「たわみ」には、縦たわみ、横たわみの2種類がある。
4. ダイナミック・アンバランスとは、タイヤの一部が他の部分より重い場合、ゆっくり回転させると重い部分が下になって止まる場合のアンバランスをいう。

【2】タイヤの特性に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

[R6.10/R3.10]

1. タイヤは、ゴムの厚さの部分的な違いやカーカスの継ぎ目などによって剛性にアンバランスが生じており、高速回転中に円周上の各部分のたわみが衝撃力となりタイヤの振動となって現れる。
2. スタティック・アンバランスとは、タイヤの一部が他の部分より重い場合、ゆっくり回転させると重い部分が下になって止まる場合のアンバランスをいう。
3. タイヤの緩衝作用は、タイヤの形状、寸法、材料、構造などによって左右されるが、空気圧及び荷重によっても大きく影響される。
4. タイヤの転がり抵抗のうち、「タイヤと路面との摩擦による抵抗」は「タイヤの変形による抵抗」よりも大きい抵抗である。

# 第4章 電気装置

## 1 半導体

- 1-1 整流回路…………… 196
- 1-2 定電圧回路…………… 198
- 1-3 スイッチング増幅回路 …… 199
- 1-4 発振回路…………… 202
- 1-5 論理回路…………… 203

## 2 バッテリ

- 2-1 構造と機能…………… 207
- 2-2 起電力と電解液比重…………… 209
- 2-3 放電終止電圧…………… 210
- 2-4 自己放電…………… 211
- 2-5 容量と電解液温度…………… 211

## 3 始動装置

- 3-1 スタータの出力特性…………… 214

## 4 充電装置

- 4-1 スター結線とデルタ結線… 217
- 4-2 ポルテージ・レギュレータ 218
- 4-3 励磁式オルタネータの点検 220

## 5 点火装置

- 5-1 ICイグナイタ…………… 222
- 5-2 マイコン式イグナイタ …… 226
- 5-3 スパーク・プソ  
[電極温度]…………… 228
- 5-4 スパーク・プラグ  
[熱価]…………… 229
- 5-5 スパーク・プラグ  
[着火性能]…………… 231

## 6 計器及び灯火

- 6-1 コイルー抵抗式ゲージ …… 233
- 6-2 灯火及び計器類…………… 235
- 6-3 故障探求…………… 239

## 7 ホーン

- 7-1 故障探求…………… 240

- ◆解答…………… 242

# 1

# 半導体

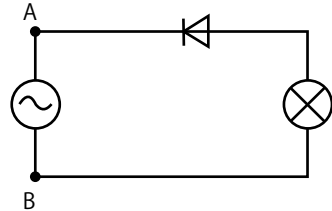
## 1-1 整流回路

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□

【1】図に示す半波整流回路に関する次の文章の(イ)から(ニ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。[R3.10/H30.10]

図の回路に交流電圧を加えたとき、A点が(イ)、B点が(ロ)の場合は、ダイオードに(ハ)方向電圧として加わるため、ランプ(負荷)に電流が(ニ)。

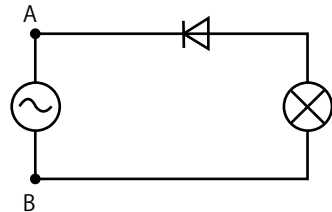
- |    | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ)  |
|----|-----|-----|-----|------|
| 1. | +   | -   | 逆   | 流れる  |
| 2. | +   | -   | 順   | 流れない |
| 3. | -   | +   | 順   | 流れる  |
| 4. | -   | +   | 逆   | 流れない |



【2】図に示す半波整流回路に関する次の文章の(イ)から(ニ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。[R6.10]

図の回路に交流電圧を加えたとき、A点が(イ)、B点が(ロ)の場合は、ダイオードに(ハ)方向電圧として加わるため、ランプ(負荷)に電流が(ニ)。

- |    | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ)  |
|----|-----|-----|-----|------|
| 1. | +   | -   | 順   | 流れる  |
| 2. | +   | -   | 逆   | 流れない |
| 3. | -   | +   | 順   | 流れない |
| 4. | -   | +   | 逆   | 流れる  |



### 一般解説

#### 📦 整流回路 [2二4章]

- ① 整流回路は、交流を直流に変える働きをもつ回路で、オルタネータなどに用いられています。
- ② ダイオードを応用した整流回路には、半波整流回路と全波整流回路があります。

# 2

# バッテリー

## 2-1 構造と機能

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□

【1】鉛バッテリーのうち、制御弁式バッテリー（密閉式）に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。** [R3. 10/H28. 10]

1. 電槽の底部にあるくら（受け台）は、極板の活物質が脱落し、底部に沈殿物としてある程度蓄積しても両極板が短絡しないように設けたものである。
2. セパレータは、正極板と負極板の間に挿入され、両極板の短絡を防止するためのものである。
3. 不純な電解液を使用すると自己放電が多くなったり、極板の腐食が促進される。
4. 正極板は暗褐色の海綿状鉛（Pb）、負極板は灰色の二酸化鉛（ $\text{PbO}_2$ ）を活物質としている。

【2】鉛バッテリーのうち、制御弁式バッテリー（密閉式）の構造に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。** [編集部]

1. 正極板は暗褐色の海綿状鉛、負極板は灰色の二酸化鉛を活物質としている。
2. セパレータは、正極板と負極板の間に挿入され、両極板の短絡を防止するためのものである。
3. 電槽の底部にあるくら（受け台）は、極板の活物質が脱落し、底部に沈殿物としてある程度蓄積しても、両極板が短絡しないように設けたものである。
4. 電解液の比重は、バッテリーが完全充電状態のとき液温 $20^\circ\text{C}$ に換算して、1.320のものが多く使用されている。

### ！ポイント解説

【1】4 & 【2】1. 正極板が二酸化鉛、負極板が海綿状鉛を活物質としている。

### 一般解説

#### 📦 バッテリーの種類 [2ニ4章]

①二輪自動車用の鉛バッテリーは、構造によって補水が必要な開放式バッテリー（普通式）と、補水を必要としない制御弁式バッテリー（密閉式）に分類されます。近年は制御弁式バッテリー（密閉式）が多く用いられています。

# 第5章 法令

## 1 車両法

- 1-1 自動車の定義と種別 …… 244
- 1-2 登録制度 …… 247
- 1-3 検査制度 …… 247
- 1-4 認証制度 …… 248
- 1-5 整備主任者 …… 250
- 1-6 特定整備 …… 251
- 1-7 特定整備記録簿 …… 252

## 2 定期点検

- 2-1 点検内容 …… 254
- 2-2 点検整備記録簿 …… 257

## 3 保安基準

- 3-1 走行装置&操作装置 …… 258
  - 3-2 制動装置 …… 259
  - 3-3 燃料装置 …… 261
  - 3-4 前方の灯火 …… 261
  - 3-5 後方の灯火 …… 265
- ◆解答 …… 270

## 1-1 自動車の定義と種別

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□ 【3】□□□

【1】「道路運送車両法」に照らし、次の文章の（ ）に当てはまるものとして、適切なものは次のうちどれか。[R6.10]

「道路運送車両」とは、（ ）をいう。

1. 普通自動車、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車及び小型特殊自動車
2. 普通自動車、小型自動車、軽自動車及び大型特殊自動車
3. 自動車、原動機付自転車及び軽車両
4. 自動車及び軽車両

【2】「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、二輪の軽自動車（大型特殊自動車及び小型特殊自動車以外のもの）の大きさや排気量について、次の文章の（イ）と（ロ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。[R7.10]

自動車の長さは（イ）m以下、幅は1.30m以下、高さは（ロ）m以下であり、内燃機関を原動機とする自動車にあっては、その総排気量が0.250ℓ以下のものに限る。

- |    | （イ）  | （ロ）  |
|----|------|------|
| 1. | 2.00 | 1.70 |
| 2. | 2.50 | 1.70 |
| 3. | 2.50 | 2.00 |
| 4. | 3.40 | 2.00 |

# 2

# 定期点検

## 2-1 点検内容

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□ 【3】□□□ 【4】□□□ 【5】□□□

【1】「自動車点検基準」の別表第7（二輪自動車の定期点検基準）に照らし、点検時期が1年ごとの項目として、**不適切なものは次のうちどれか。** [R7. 10]

1. 制動装置のブレーキ・ペダル及びブレーキ・レバーの遊び
2. 走行装置のホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み
3. 動力伝達装置のチェーンの緩み
4. 緩衝装置のショック・アブソーバの油漏れ及び損傷

【2】「自動車点検基準」の「二輪自動車の定期点検基準」に照らし、1年ごとに必要な点検項目として、**不適切なものは次のうちどれか。** [R6. 10/R3. 10/H29. 10]

1. エグゾースト・パイプ及びマフラの取付けの緩み及び損傷
2. 原動機の潤滑装置の油漏れ
3. 制動装置のロッド及びケーブル類の緩み、がた及び損傷
4. 緩衝装置のサスペンション・アームの連結部のがた及びアームの損傷

【3】「自動車点検基準」の別表第7（二輪自動車の定期点検基準）に照らし、1年ごとに必要な点検項目として、**適切なものは次のうちどれか。** [H30. 10]

1. エグゾースト・パイプ及びマフラの取付けの緩み及び損傷
2. 緩衝装置のサスペンション・アームの連結部のがた及びアームの損傷
3. かじ取り装置のハンドルの操作具合
4. 電気装置の電気配線の接続部の緩み及び損傷

【4】「自動車点検基準」の「二輪自動車の定期点検基準」に照らし、点検時期が2年ごとの項目として、**適切なものは次のうちどれか。** [R5. 10]

1. 制動装置のブレーキ・ディスクの摩耗及び損傷
2. 原動機の燃料装置の燃料漏れ
3. 動力伝達装置のクラッチ・レバーの遊び
4. 電気装置のバッテリーのターミナル部の接続状態

## 本書に関する問い合わせについて

本書の内容で分からないことがありましたら、必要事項を明記の上、メール又はFAXにて下記までお問い合わせください。

※電話でのお問い合わせは、受け付けておりません。

※回答まで時間がかかる場合があります。ご了承ください。

※必要事項に記載漏れがある場合、問い合わせにお答えできない場合がありますのでご注意ください。

※お問い合わせは、本書の内容に限ります。試験の詳細や実施時期等については一般社団法人日本自動車整備振興会連合会（略称：日整連）のHPをご覧ください。

※キャリアメールをご使用の場合、受信設定を必ず行なってからご連絡ください。

本書籍に関するお問い合わせ		
<p>メール</p> 	<p>inquiry@kouronpub.com</p> 	<p>問い合わせフォーム</p> <p>または</p> 
<p>FAX</p> 	<p>03-3837-5740</p>	<p>必要事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・お客様の氏名とフリガナ</li><li>・FAX番号（FAXの場合のみ）</li><li>・書籍名 ・該当ページ数 ・問い合わせ内容</li></ul>

### 自動車整備士 2級二輪 問題と解説 旧制度試験対応版

定価2,640円／送料350円（共に税込）

■発行日 令和8年4月 初版

■発行所 株式会社 公論出版  
〒110-0005 東京都台東区上野3-1-8  
TEL：03-3837-5731  
HP：https://www.kouronpub.com